

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-137779
(P2019-137779A)

(43) 公開日 **令和1年8月22日(2019.8.22)**

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
CO8J 7/04 (2006.01)	CO8J 7/04	4FO06
CO8F 293/00 (2006.01)	CO8F 293/00	4J026

審査請求 未請求 請求項の数 17 O L (全 30 頁)

(21) 出願番号	特願2018-22250 (P2018-22250)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(22) 出願日	平成30年2月9日 (2018.2.9)	(74) 代理人	100099508 弁理士 加藤 久
		(74) 代理人	100182567 弁理士 遠坂 啓太
		(74) 代理人	100197642 弁理士 南瀬 透
		(72) 発明者	八尾 滋 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
		(72) 発明者	平井 翔 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポリプロピレン樹脂成形体の改質方法および、改質ポリプロピレン樹脂成形体ならびにその製造方法

(57) 【要約】

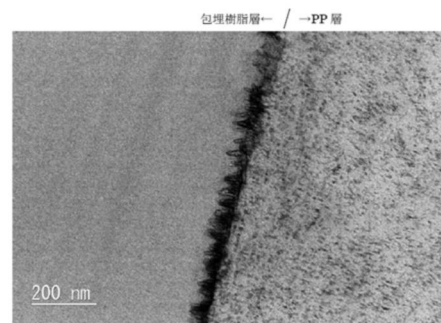
【課題】

側鎖に長鎖アルカン鎖を有し、ポリプロピレン樹脂成形体と良好な相互作用力を持ち、表面特性を改質できる機能を有する側鎖結晶性ブロック共重合体によって、ポリプロピレン樹脂成形体を改質する方法を提供する。また、改質ポリプロピレン樹脂成形体を提供する。

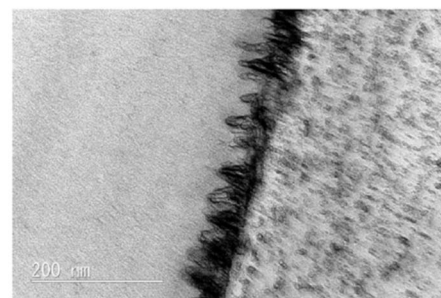
【解決手段】

側鎖結晶性ブロック共重合体を含む共重合体溶液と、ポリプロピレン樹脂成形体とを、前記共重合体溶液の温度を40～120で接触させる工程を有するポリプロピレン樹脂成形体の改質方法。ポリプロピレン樹脂成形体の基材と、前記基材の少なくとも一部に側鎖結晶性ブロック共重合体を含む部位を持つ改質ポリプロピレン樹脂成形体。

【選択図】 図1



PP 改質 SCCBC (撮影倍率×20,000)



PP 改質 SCCBC (撮影倍率×40,000)